

水道公社における上水道管路維持管理能力向上支援事業 (2018年6月～2023年1月)



安全・安心できる水を無駄なく、適切に各戸へ！

■ 実施団体：

さいたま市（水道局）



■ 対象国・地域：

ラオス国
首都ビエンチャン、ルアンパバン県、カムアン県

■ 現地カウンターパート

- ・公共事業運輸省水道局
- ・首都ビエンチャン水道公社、ルワンパバン県水道公社、カムアン県水道公社

■ 協力内容：

- ・浄水場から適切に各戸に配水するために、水道管路の施工・基準・材料の改善により新規工事の質を向上させることで、将来の潜在的な漏水を未然に予防することを目指す。

■ 団体のこれまでの取り組み：

- 2002-2005年 JICA技術協力「ラオス水道事業人材育成プロジェクト」
- 2006-2008年 JICA草の根「ラオス上水道配給水管維持管理技術向上」
- 2011年6月 国際貢献等推進検討会議の設置（国際協力実施体制の強化）
- 2011年12月 首都ビエンチャンとの水道分野の強化に向けた協力に関する覚書締結
- 2012-2017年 JICA技術協カト「ラオス水道公社事業管理能力向上プロジェクト」
- 2016年12月 ラオス国水道公社との水道分野の強化に向けた協力に関する覚書
- 2017年12月 ラオス国公共事業運輸省水道局との水道分野の強化に向けた協力に関する実施覚書

■ 事業実施の背景：

- ・対象国において水道施設の拡張・更新により安全で安定的な都市給水を目指している。しかし浄水場や水道管路の維持管理等現場の技術に関して課題が多い中、各戸配水のための水道管路維持管理能力向上が求められていた。

ラオス国の課題と成果

課題① 配水管・給水管施工の運営管理体制が構築されていない

成果① 施工管理チェックシートが導入された。給水施工管理を適切にできる職員が育成された。

課題② 配水管・給水管の施工基準が不明確

成果② 配給水管施工に関する基準（①管土被り②埋戻し③耐圧検査④水質検査⑤管接合）が設定された。配水管及び給水装置施工マニュアルができた。

課題③ 配水管・給水管材料の選定基準がなく、適切に管理されていない

成果③ 漏水防止の観点から有用な資材の材料一覧がとりまとめられ、在庫管理や材料管理が適切に行われるようになった

事業の波及効果

**！ 水道管の維持管理のための基礎技術が定着し、
将来的な漏水削減に一步前進！**

- ・浄水場や水道管路の維持管理等現場の技術が確実に向上。将来の潜在的な漏水を未然に予防することにつながった

**！ 現地職員の自主性を尊重。
「自分事化」によるモチベーションUPへ！**

- ・「自分事化」できた職員がリーダーシップをとり同僚に説明する姿が見られるようになった。